

ワークショップ「しめかざり つくろう」



実施者：CAF・N協会

助成事業名：ワークショップ「しめかざり つくろう」

社会や地域の課題

情報端末の普及は新しい文化を生み出してはいるが、実体験の乏しい画一的なものになりがちである。田畑や緑地は急激に消え、自然だけでなく自然素材に触れる機会が無くなってきている。また、核家族化や地域主催の伝統行事の中止や縮小は、子どもや若者が日本文化の良さを知り、先人たちの生活の知恵を学び取る機会の減少につながり、課題と考える。

取組概要及び成果

日本の伝統文化でもあるお正月のしめ飾りに焦点をあて、その歴史や、背景、飾り物の持つそれぞれの意味合いなどを学びながら、独自のしめ飾りを作るワークショップを開催した。

子どもたちの中には、毎日食べる白いお米がその前はどのような状態なのか分からない子が多い。実際に稲わらをすくって縄を作り、それがしめ縄になりしめ飾りを作る過程を実体験することは貴重な時間であると考えた。

藁から縄が出来ていく過程を体験し、手作りだしめ飾りを作る体験ができたことに驚きと喜びを感じてもらえた。改めて日本の古い文化や歴史に触れ、学ぶことができたと思う。

(参加者約200名)